

1.目的

FA-M3RのCPUモジュールのプログラミングツールポート、またはパソコンリンクモジュール F3LC12-1FとVシリーズを接続する際の設定手順を説明します。

### 2. 接続環境

モニタッチ	:	V 7 1	2 i	S																	
PLC	:	F A -	М 3	R	(	S	Ρ	5	8	-	6	Н	)	F	3	L	C 1	2	-	1	F
使用ソフト	:	Wid	е	F	i	e	1	d		V	e	r	s	i	o r	٦	R	2	•	0 4	1

3.設定方法

CPUモジュールのプログラミングツールポートと接続する場合 以下の設定で接続します。

ボーレート	:	1 1 5 K b p s
データ長	:	8ビット(固定)
ストップビット	:	1ビット
パリティ	:	偶数
サムチェック	:	あり

### <u>V-SFTの設定</u>

V-SFTを立ち上げ、新規画面を作成します。

「編集機種」ダイアログでモニタッチの機種を選択し、[OK]をクリックします。 次に、「PLC 選択」ダイアログで[横河電機 FA-M3R]を選択し、[OK]をクリックします。



🜈 Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0020-1	2/9

「通信パラメータ」ダイアログが表示されます。

<u>**就 -レ-ト:115K BPS</u>に設定、信号い ト: RS232C</u>をチェックします。</u>** 

通信パラメータ	×
メイン1  細かい設定	
π <sup>*</sup> −ν−ト 115K BPS <b>Ξ</b>	
信号レベル	
読込IJ7 1:D00001 🔛	
書込IJ7 1:D00051 🕢	
□ 読込/書込Iリア GD-80互換	
カレンダ <b>\$u16330 </b> ■	
「 Ethernetを使用する	
接続先	
	( <u>A</u> )

[細かい設定]タブをクリックします。

<u>パリティ:偶数</u>、<u>伝送形式:サムチェックあり</u>に設定、<u>データ長:8ビット</u>、<u>ストップビット:1ビット</u> をチェックして、[0K]をクリックします。

逋	信パラメータ				×
	メイン1 細か	い設定			1
	接続形式	1:1 _ 殿定	相手	先局番 1 📩	
ſ	ハリティ	偶数 🔽	─通信異常処理 ○ 停止	○ 維続	
l	伝送形式 送信遅延時間		- データ長 の 7ビット	• 8E%F	
	スタートタイム	0 * *sec	- ストッフ℃ット ● 1ビット	C 21">	J
	リトライ回数 タイムアウト時間	3 + 50 + *10msec	⊐ <sup>1</sup> × © DEC	C BCD	
			-文字処理 ● LSB→MSB	© MSB→LSB	
	デフォルト		×++>tell	レ適用( <u>A</u> )	

以上でV-SFTの設定は完了です。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0020-1	3/9
テクニカルインフォスーション	NO. 11-M-0020-1	3/9

## <u>Wide Fieldの設定</u>

Wide Fieldを起動します。

プロジェクトを新規作成する場合は[ファイル] [プロジェクトの新規作成]を選択し、[プロジェクト名]を入力、CPU機 種を選択して、[新規作成]をクリックします。

既存のプロジェクトを使用する場合は へ進みます。

	🥪 Wide Fie	eld			
	771N(E)	編集(E)	検索( <u>S</u> )	表示(⊻)	7
d	フロジェク	トの新規作	成( <u>M</u> )		
	<mark>プロジェク</mark> プロジェク プロジェク	<u>トを開く(日)</u> トを閉じる( トの上書き	_) '呆存(⊻)		
	新規作) 開く(Q) 閉じる(Q	或( <u>N</u> )		Ctrl+N	۲
	上書きに	呆存( <u>S</u> ) fけて保存・	( <u>A</u> )	Ctrl+S	
	<b>フリンタの</b> 印刷( <u>P</u> )	設定(T)		Gtrl+P	
	CADM3 CADM3	<b>実行プログ</b> ファイルを開 <sup>、</sup>	ラムを開く( <u>」</u> ((ビ)	)	
	アフッケー	ションの終了	∞		
ſ			1		

プロジェクト新規作成		<u>?×</u>
プロジェクト位置	🔁 Fam3pjt 💽 🔶 📸 📰 •	
🗋 WFsample		
プロジェ外名	hakko	新規作成
CPU機種	F3SP58-6H	キャンセル
プロジェクトタイトル		
		4

### ブロックを作成します。

[ファイル] [新規作成]を選択し、[プロック]をクリック、ファイル名を入力して[OK]をクリックします。



*l* Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0020-1	4/9
J J _ J // J J J A / _ J = J	NO. 11-M-0020-1	4/9

☞ WideField [ABC] ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 表示()((	<u>_ロメ</u> プロジェクト(」 かけイン(L) デバッグ・保守(D) ツール(T) ウィントウ(W) ヘルプ(H)
▆╔╔╘╻╕त	<u>実行ブログラム構成定義(P)</u> <u>OPU機種変更・フħハテャイѼ</u>
	コンフィギュレーション(2) ユーザログメッセージ(1) 共通信号定義(5)
- 福林広定義	文法チェック( <u>K</u> )
	711ジェクト検索(E) 711ジェクト命令検索(Q) 711ジェクト置換 レク装着位置変更(2) 711ジェクトのデパイス使用状態(L)
	ファイル追加型 ファイル名変更(R) ファイル削除(D)
	7加登録( <u>M</u> ) 7加取り出し( <u>E</u> )
RDY RUN ALM ERR	ステップ <sup>®</sup> 」 運転 」 ms 」 L E Y X 停止   ROM装着
プロジェクト内の実行プロクラムの構成定義を行い	します。 し

[プロジェクト] [実行プログラム構成定義]を選択します。

「実行プログラム構成定義」ダイアログが表示されます。

<u>コンフィギュレーション:設定する</u>にチェックをいれます。

構成ブロックにブロックが登録されていない場合は[<-選択]をクリックして構成ブロックにブロックを登録 し、[0K]をクリックします。

実行プロクラム構成定義				X
実行プログラム名	ABC		$\subset$	ок
- コンフィギュレーション - © 設定す	ح	○ 設定しない		キャンセル
」 □ □有り		<ul> <li>● 無し</li> </ul>		
構成ブロック				
フ <sup>・</sup> ロック番号 センサCB 1	プロック名 ABCD	▲ <-選択	ABCD	覧 ▲
2		插入		
5 6				
8 9				

Co., Ltd.

[プロジェクト] [コンフィギュレーション]を選択します。

<ul> <li>WideField [TEST]</li> <li>ファイル(E) 編集(E) 検索(S) 表示(V())</li> <li>(回) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E</li></ul>	-□×           ?ロジセか(1)         ?バッゲ・保守(1)         ?レール(1)         ?レトウ(1)         ?レール(1)           実行?ログラム構成定義(2)         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2         2
	マ加登録( <u>M)</u> マ加取り出し(E)
RDY RUN ALM ERR	ステップ   運転   ms   LE Y X 停止   ROM装着
プロジェクトト内のコンフィギュレーションを設定します。	

「コンフィギュレーション」ダイアログが表示されます。

レフィキュレーション					×
通信設定 デバイス容量	ROM設定   運転制御	割り込み設定   初期データ設定	停電·□-加   DIO設定	共有リフレッシュ FAリンク設定	FL-net ሣንレッシュ サンプツングドレース
<ul> <li>内部リレーの/データ</li> <li>内部リレー</li> <li>データレジスタ</li> <li>タイマ(T)/カウンタ(C)</li> <li>100usタイマ</li> <li>100usタイマ</li> <li>100msタイマ</li> <li>100msタイマ</li> <li>100ms北続</li> <li>カウンタ C1~C</li> </ul>	ロシジスタ(D) I1〜 I 327 D1〜D 327 0 100 100 100 100 100 100 100 1	53 68 − 20001 ~ T01024 1025~ T01920 1921 ~ T02048 9) 1921 ~ T02048 9)	デがイス(L.W) リレー ウ1 L00001~L0 ウ2 L10001~L1 ウ3 L20001~L1 ウ4 L30001~L3 ウ5 L40001~L5 ウ7 L60001~L5 ウ8 L70001~L7	レジン 2048 日 W00001- 2048 日 W10001- 2048 日 W20001- 2048 日 W30001- 2048 日 W40001- 2048 日 W50001- 2048 日 W50001- 2048 日 W50001- 2048 日 W50001- 2048 日 W50001- 2048 日 W50001-	2/3           ~W0         2048           ~W1         2048           ~W2         2048           ~W3         2048           ~W4         2048           ~W5         2048           ~W6         2048           ~W7         2048
CPU 1 0 CPU 2 0 CPU 3 0 CPU 4 0		レジスタ 回 1 個 ~ 回 1 個 ~ 回 1 個 ~ 回 1 個 ~ 回 1 個 ~	拡張リレー 0 1個 0 1個 0 1個 0 1個		29 3 10 ~ 3 10 ~ 3 10 ~ 3 10 ~
		(	DK キャン	セル デフォルト	- NH7

🜈 Hakko Electronics Co., Ltd.

No. TI-M-0020-1

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0020-1	6/9
テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0020-1	6/

[通信設定]タブをクリックします。

<u>通信モード:115200bpsパリティ偶数</u>を設定します。

CPUパソコンリンク機能の設定で、\_**パ ソコンリンク機能を使用する**、\_**チェックサム**にチェックをいれます。 設定が完了したら、[0K]をクリックします。

コンフィー	ギュレーション					×
		運転制御	初期データ設定	DIO設定	FAリンク設定	サンプリングドレース
$\langle$	通信設定	ROM設定	割り込み設定	停電・ローカル	共有リフレッシュ	FL-net リフレッシュ
	通信モート				_	
	(115200bps/\'95	7偶数				
l						
		*の設定			_	
6		総友使田する				
	I♥ 7774277748	AB (21)(71) 9 8				
ļ	▼ ቻェックサム					
	□ 終端文字	2				
	□ プロテクト機	能				
_				)K キャン	セル テフォルト	

[オンライン] [ダウンロード]を選択します。



*C* Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0020-1	7/9
----------------	-----------------	-----

以下のダイアログが表示されるので、[はい]をクリックします。



以下のダイアログが表示されると、転送完了です。



以上でWide Fieldの設定は完了です。

パソコンリンクモジュールF3LC12-1Fと接続する場合 ポート1またはポート2に以下の設定で接続します。

ボーレート	: 115Kbps
データ長	: 7ビット
ストップビット	: 1ビット
パリティ	: 偶数
サムチェック	: あり

# <u> V - S F Tの設定</u>

V - SFTを立ち上げ、新規画面を作成します。
 モニタッチの機種を選択し、[0K]をクリックします。
 次に、PLCの機種を[横河電機 FA-M3R]を選択し、[0K]をクリックします。

	PLC選択 [横河電機 : FA-M3R]
編集機種 又712S(800*600) ● ● ● ● ●	<ul> <li>● 横河電機</li> <li>● FA-600</li> <li>● FA-600</li> <li>● FA-607 A-M3R(Ethernet)</li> <li>● FA-667 A-M3R(Ethernet)</li> <li>● FA-67 A-M3R(Ethernet)<!--</td--></li></ul>

🜈 Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0020-1	8/9
----------------	-----------------	-----

「通信パラメータ」ダイアログが表示されます。

<u>**ずーレート:115K BPS</u>に設定、信号いいよ:RS232C</u>をチェックします。</u>** 

通信パラメータ	×
メイン1 細かい設定	
信号//ベル ⓒ RS232C ◯ RS422	
読込IJ7 1:D00001 📰	
書込ェリア 1:000051	
□ 読込/書込IUF GD-80互換	
カレンダ 🕻 🚛	
🥅 Ethernetを使用する	
接続先	
デフォルト OK キャンセル 適用(A	

# [細かい設定]タブをクリックします。

<u>パリティ:偶数</u>、<u>伝送形式:サムチェックあり</u>に設定、<u>データ長:7ビット</u>、<u>ストップビット:1ビット</u> をチェックして、[0K]をクリックします。

通信パラメータ				×
メイン1 細かい語	定			_
接続形式	▼ 設定	相手	先局番 1 三	
<u>ለ</u> ማታィ	偶数	─通信異常処理—— ● 停止	○ 維続	
伝送形式 送信遅延時間	サムチェックあり 💌	- データ長 © 7ビット	C 8ťvh	
29-1944	P → *msec	ーストッフピットーーーー ・ストッフピットーーーー	C 2ťット	
リトライ回数	3	-1	C BCD	
944771時間	50 🛨 *10msec	文字処理	C MCD J CD	
		(● LSB→MSB	© MSB→LSB	
テウォルト	01	( *+>>te)	レ 適用( <u>A</u> )	

以上でV-SFTの設定は完了です。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0020-1	9/9
テクニカルインフォメーション	NO. 11-M-0020-1	9/9

## <u>F3LC12-1Fのディップスイッチ設定</u>

F3LС12-1Fのパラメータ設定は、ユニット側面に付いているディップスイッチで行います。

- SW1を"C"にします。(<u>C:115.2kbps</u>)
- SW2を以下の設定にします。
   BIT2、3、5をONにします。(<u>2:PARITY YES、3:EVEN、5:CHECK SUM YES</u>)
   その他はOFFにします。
- SW3はすべてOFFにします。

#### 4.接続

CPUモジュールのプログラミングツールポートと接続する場合 横河電機製ラダ - 転送ケーブル「KM11-2N」を使って、VシリーズとFA - M3Rを接続します。

パソコンリンクモジュールF3LC12-1Fと接続する場合





🜈 Hakko Electronics Co., Ltd.